

## 審議会等の議事の要旨（要点）

（基本情報）

会議名称	立川市環境審議会
開催日時	令和2年2月17日（月曜日）14時～15時55分
開催場所	立川市役所本庁舎2階210会議室
次第	1. 辞令交付 2. 委員紹介 3. 環境審議会会長の互選について 4. 環境審議会副会長の互選について 5. 諮問 環境施策の進捗状況について（たちかわし環境ブック） 6. 議題 立川市第2次環境基本計画の中間見直しについて（報告） 第2期立川市地球温暖化対策実行計画について（報告） 平成31年度家庭で取組むエコチャレンジについて 7. 閉会
配布資料	（当日配布） 資料1. 第12期立川市環境審議会委員名簿 資料2. 立川市第2次環境基本計画中間見直し版・第2期立川市地球温暖化対策実行計画（素案） 資料3. 平成31年度家庭で取組むエコチャレンジ審査表 資料4. 平成31年度家庭で取組むエコチャレンジ事前審査採点結果 資料5. 平成31年度家庭で取組むエコチャレンジ優良事例表彰について （参考）立川市家庭で取組むエコチャレンジ審査・表彰要領資料
出席者	〔委員〕 片野 勸、加藤 禮子、山田 廣幸、齋藤 孚彦、甲野 毅、 村田 佳壽子、山下 英俊、中島 孝昌、中村 裕、遠藤 智志、 吉岡 正司、田中 準也（敬称略） 〔事務局〕 小宮山 克仁（環境下水道部長）、横塚 浩一（環境対策課長）、 八谷 俊太郎（環境推進係長）、柚木 正史（環境指導係長）、 桜井 優（温暖化対策係長）、山口 文寿（環境推進係）
公開及び非公開	公開
傍聴者数	0人
会議結果	・環境審議会会長の互選：会長に甲野委員が選任された。 ・環境審議会副会長の互選：副会長に山下委員が選任された。 ・議題：立川市第2次環境基本計画の中間見直し及び第2期立川市地球温暖化対策実行計画について 事務局より素案について報告を行った。 ・議題：平成31年度家庭で取組むエコチャレンジ審査について 審査の結果、採点結果の通り優良事例を選出することとした。
担当	環境下水道部環境対策課環境推進係 電話 042-528-4341

## 第12期 第1回立川市環境審議会 会議録

開催日時 令和2年2月17日（月曜日） 14時～15時55分

開催場所 立川市役所本庁舎210会議室

出席者〔委員〕片野 勸、加藤 禮子、山田 廣幸、齋藤 孚彦、甲野 毅、  
村田 佳壽子、山下 英俊、中島 孝昌、中村 裕、遠藤 智志、  
吉岡 正司、田中 準也（敬称略）

〔事務局〕小宮山 克仁（環境下水道部長）、横塚 浩一（環境対策課長）、  
八谷 俊太郎（環境推進係長）、柚木 正史（環境指導係長）、  
桜井 優（温暖化対策係長）、山口 文寿（環境推進係）

### 1 辞令交付

### 2 委員紹介（自己紹介）

各委員の自己紹介を行った。

### 3 環境審議会会長の互選

会長に、甲野委員が選任された。

### 4 環境審議会副会長の互選

副会長に、山下委員が選任された。

### 5 諮問

田中準也副市長が諮問を代読し、諮問書を甲野会長に手渡した。

諮問：環境施策の進捗状況について（たちかわし環境ブック）

### 6 議題

<立川市第2次環境基本計画の中間見直し版及び第2期立川市地球温暖化対策実行計画について>

事務局より計画の素案について報告を行った後、各委員から意見をいただいた。

#### ○委員意見

- ・協働プロジェクトの目標・取組例の「目指そう！クリーンなまち」について具体的な内容を聞きたい。  
⇒現在、プラスチック海洋汚染などプラスチックごみ減量に大きな課題があるため、新たな取組を考えた。プラスチック類の使用から減らす必要がある。（事務局）
- ・誰でも取組ができることが、記載されているので良いと思う。
- ・今回は報告であり、今後たちかわし環境ブックで環境基本計画に記載されている環境施策について、進捗状況の確認を行っていくことになる。

## <平成 31 年度家庭で取り組むエコチャレンジ審査について>

### ○委員意見

- ・エコチャレンジへの申込が多くなり、啓発がうまくいっていると感じる。チェック表がわかりやすくなり、デザインも楽しそうになっていて良い。  
⇒今年度は 70 組になった。前年度は 45 組。小学校へ全員分のチラシを配布している。前年度行った人が、もう一度取り組んでくれている。その人からの口コミで申し込んでくれた人がいる。(事務局)
- ・学校の先生から強制されるのか？  
⇒エコチャレンジの取組期間が、夏休み期間中であり子どもの自由研究になっている。子どもに環境への関心がある。(事務局)
- ・理科の教員が環境問題についてリアリティを持って話をすると、子どもが取り組みやすい。
- ・日常生活での取組が子どもなりの視点でできている。
- ・取組が熱心になっている。良い取組には親の影響がある。環境教育を受けた世代が親になってきている。
- ・エコチャレンジに参加する人をもっと増やせられないか？参加することによるお徳感が出せるとよい。市長表彰があるが地味に感じる。所沢市にはエコアイドルがいる。さらなる PR があるとよい。
- ・表彰式にマスコミがくるような仕掛けがあれば、マスコミからも発信される。
- ・参加を増やすには取組にゲーム感覚が必要である。
- ・中学生の主張大会に環境問題が取り上げられることが少ない。テーマを環境に特化したものがあれば良い。中学校での環境に関する取組がなく、小学校からの継続性がない。
- ・小学校から環境に関する問題に触れるこうした仕掛けはうまくいっている。企業からのアピールも必要。
- ・エコチャレンジを市民はどうやって知るのか？  
⇒小学校に全児童分のチラシを配布。広報やホームページに掲載している。(事務局)
- ・子どもの頃からの取組は大切。大人になってからの長期的な影響がある。
- ・もっと人を集めるには、校長会などへ取組結果をフィードバックしたらどうか。
- ・優良事例の選出といった優劣よりも、取組全体での二酸化炭素削減量や参加人数をアピールしてはどうか。取組の効果がわかればもっと参加するのでは？
- ・学生にも取組をさせているが、自ら行った環境活動は少しの影響しかないかもしれないが、自らが環境に貢献できているという自己肯定感は大切である。
- ・自分一人の取組では効果が大したことないと感じることを乗り越えられるようにしていくことが重要である。
- ・取組の効果は数値だけでなく、絵などでわかりやすく示すことができるとよい。

- ・優良事例について、得票数が出ているが、上位5チーム以外に印象に残った取組はあるか？
- ・省エネ行動で髪を良く拭いてからドライヤーをかけたチームがあり、家庭にテレビがないと記載されていることと共に印象に残った。
- ・目標のなかに地球温暖化について調べるという項目があった。そもそも何故このような取組をするかを考えることは重要である。
- ・優良事例は、事前審査で得票数の多かった5チームに決定する。優良事例には選ばれなかったが、印象に残った取組として今回意見が挙げられた行動は、パネルなどで紹介してもらいたい。
- ・紹介したい事例があれば、事務局に1週間程度のうちに推薦することとしたい。  
⇒表彰式が行われる環境フェアで、優良事例以外の印象に残った行動について、パネルでの紹介を検討したい。また、小学校にエコチャレンジのチラシを配布する際に、過去の取組や結果を知ってもらう工夫を検討したい。(事務局)

以上